



株主通信

第117期 中間期

(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

Best Solution to the World

目次

ごあいさつ	1
財務ハイライト	3
中間連結財務諸表	5
事業セグメント別概況	6
トピックス	
ポジショニングビジネス	7
アイケアビジネス	7
ファインテックビジネス	8
トブコンプラザ	9
会社概要・役員	10



ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素は格別のご高配を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

ここに、株式会社トブコンおよびトブコングループの平成21年4月1日から平成21年9月30日に至る第117期中間期の営業の概況をご報告申し上げます。

当中間期における経済環境は、米国では最悪期を脱しつつありますが、世界金融危機を引き金とした景気の低迷が、欧米各国で続いています。一方、中国等の新興国群では、各国で状況は異なるものの景気は緩やかではありますが回復基調で推移しています。日本においては、底打ち感はあるものの、世界的な景気の悪化や円高の進行、雇用環境の悪化等を背景とした景気の低迷が続いています。

このような経済環境にあって、当社グループは「利益ある持続的成長を実現し、「グローバル優良企業を目指す」という目標に向けて、業務プロセスの半減を実現しつつ、世界No.1商品を他社に先駆けて上市する「TM-1 (Time to Market No.1) 活動」を、強力に推進してまいりました。

こうした中で、当中間期の連結業績は、次のようになりました。

売上高は、期後半に向かい改善傾向で進みましたが、当社の事業分野であるポジショニング、アイケアおよびファインテックの各市場において、世界的な市況

の悪化や円高による為替の影響を受けたことなどにより、433億3千8百万円と、前年同期に比べ34.1%の減少となりました。

利益面では、期後半の売上高改善、全社的に取り組んだ経費節減の効果等により営業黒字に転換いたしました。しかしながら、前年同期と比べると、当中間期では大幅な経費節減を実現いたしました。売上高の著しい悪化に伴い利益が大幅に減少しており、営業利益は18億3千6百万円(前年同期比48億5千5百万円の減少)の損失、経常利益は23億6千4百万円(前年同期比53億6千6百万円の減少)の損失、中間純利益は23億6千9百万円(前年同期比38億5千1百万円の減少)の損失となりました。

中間配当につきましては、連結業績の著しい悪化があるものの、安定した配当の維持を重視し、1株当たり2円(前期中間配当8円)と決定させていただきましたので、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後ともご理解、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

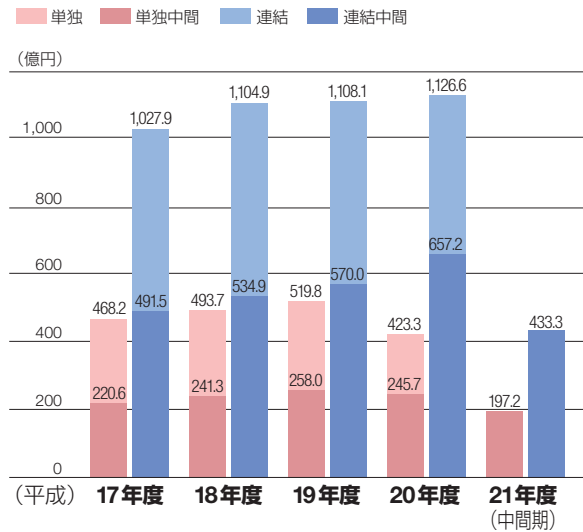
平成21年12月
代表取締役社長

横倉 隆

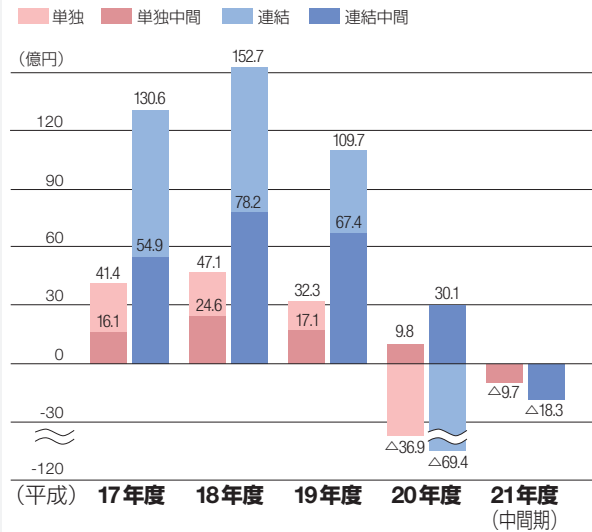




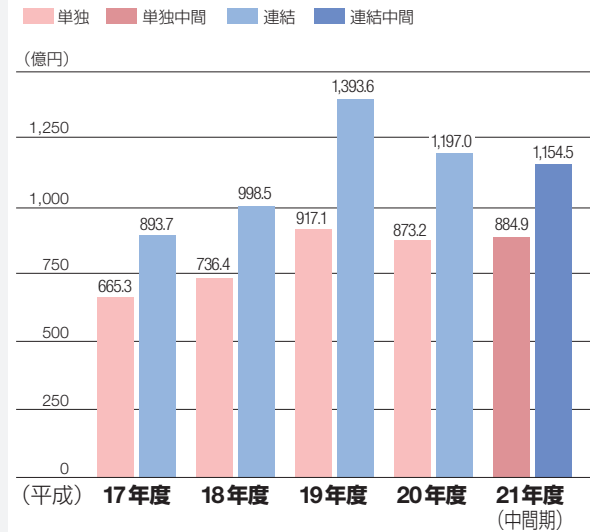
売上高



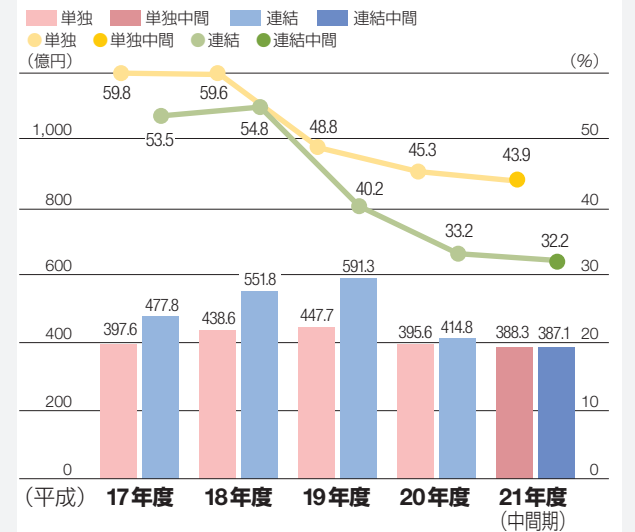
営業利益(△損失)



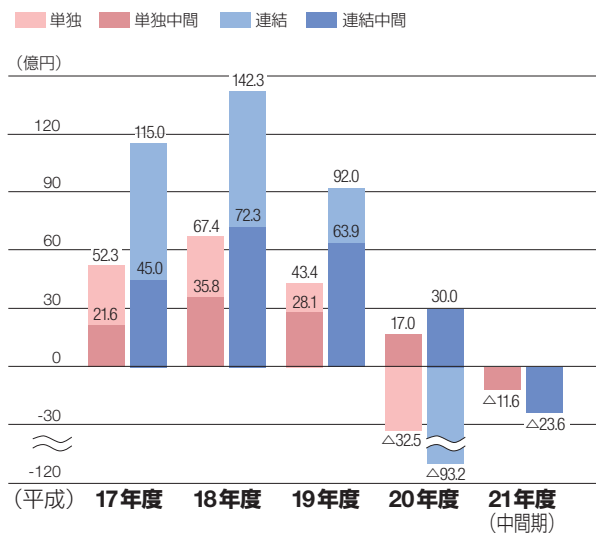
総資産



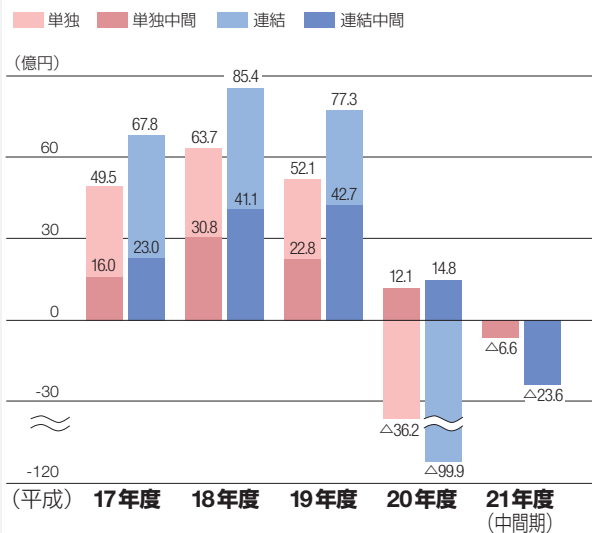
純資産・自己資本比率



経常利益(△損失)

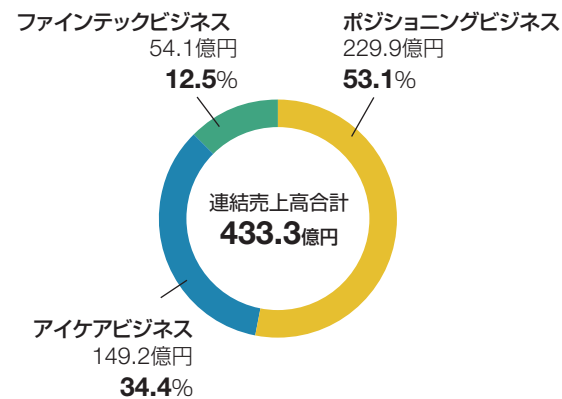


当期(中間)純利益(△損失)

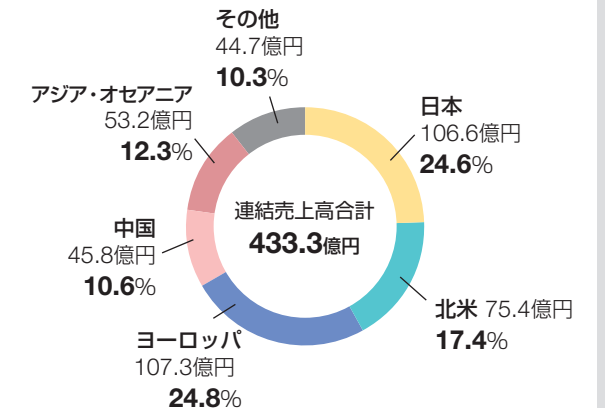


平成21年度中間期のセグメント情報

事業別売上高 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)



仕向地別売上高 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)



中間貸借対照表

科目	(単位:百万円)	
	第117期中間期末 (平成21年9月30日現在)	第116期期末 (平成20年3月31日現在) (ご参考)
(資産の部)		
流動資産	71,978	75,130
固定資産	43,473	44,572
有形固定資産	16,611	17,667
無形固定資産	15,624	17,047
投資その他の資産	11,238	9,857
資産合計	115,452	119,702
(負債の部)		
流動負債	38,682	38,063
固定負債	38,053	40,151
負債合計	76,736	78,215
(純資産の部)		
株主資本	41,102	43,671
資本金	10,297	10,297
資本剰余金	14,711	14,711
利益剰余金	16,149	18,717
自己株式	△56	△55
評価・換算差額等	△3,884	△3,870
その他有価証券評価差額金	135	2
繰延ヘッジ損益	△13	△58
為替換算調整勘定	△4,006	△3,814
少数株主持分	1,497	1,686
純資産合計	38,716	41,487
負債純資産合計	115,452	119,702

(第117期中間期末) (第116期期末)
 注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額 42,479百万円 42,156百万円
 2. 1株当たり純資産額 401円85銭 429円72銭

中間損益計算書

科目	(単位:百万円)	
	第117期中間期 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	第116期中間期 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日) (ご参考)
売上高	43,338	65,726
売上原価	25,726	37,731
販売費及び一般管理費	19,447	24,974
営業利益(△損失)	△1,836	3,019
営業外損益	△527	△16
経常利益(△損失)	△2,364	3,002
特別損益	△301	△292
税金等調整前中間純利益(△損失)	△2,665	2,709
法人税等	△170	1,051
少数株主利益	△126	176
中間純利益(△損失)	△2,369	1,482

(第117期中間期) (第116期中間期)
 注) 1株当たり中間純利益(△損失) △25円58銭 16円00銭

中間キャッシュ・フロー計算書

科目	(単位:百万円)	
	第117期中間期 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	第116期中間期 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日) (ご参考)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,866	2,113
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,082	△2,146
財務活動によるキャッシュ・フロー	220	637
現金及び現金同等物に係る換算差額	△191	51
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	1,813	656
現金及び現金同等物の期首残高	14,720	16,293
現金及び現金同等物の期末残高	16,533	16,949

ポジショニングビジネス

ポジショニングビジネスでは、当期後半において中国などの新興国が堅調に推移しましたが、特に米国および欧州市況の低迷の影響や為替の円高による影響を受けたことなどにより、売上高は229億9千7百万円と前年同期に比べ34.6%の減少と大きく落ち込みました。営業利益は、固定費削減等に積極的に取り組みましたが、この売上高の減少により、11億7千3百万円(前年同期比23億7千1百万円の減少)の損失となりました。



ハンドヘルド2周波GNSS受信機「GRS-1」

アイケアビジネス

アイケアビジネスでは、国内市場における眼科医向け製品が堅調に推移しましたが、特に米国および欧州市況の低迷の影響や為替の円高による影響を受けたことなどにより、売上高は149億2千9百万円と前年同期に比べ19.2%の減少となり、営業利益は、この売上高の減少により、3億2千6百万円(前年同期比81.9%減少)となりました。

3次元眼底像撮影装置「3D OCT-2000」



ファインテックビジネス

ファインテックビジネスでは、前年同期において好調であった中国でのプロジェクト関連製品の落ち込みや半導体市況の低迷の影響等を受け、売上高は54億1千1百万円と前年同期に比べ55.1%の減少となり、営業利益は、この売上高の大幅な減少により、9億9千万円(前年同期比10億7百万円の減少)の損失となりました。



紫外線強度計「UVR-300」(受光器付)



Positioning

ポジショニングビジネス



3D移動体計測システム「IP-S2シリーズ」

主な取り扱い製品

測量用GNSS(GPS+GLONASS+GALILEO)受信機、GIS用GNSS受信機、GNSSリファレンスステーションシステム、MILLIMETER GPS、土木用マシンコントロールシステム、精密農業用マシンコントロールシステム、3D移動体計測システム、アセットマネジメントシステム、デジタル写真測量システム、トータルステーション(工業計測用トータルステーション、イメージングステーション、自動追尾トータルステーション、モータードライブトータルステーション、ノンプリズムトータルステーション)、データコレクター、セオドライト、電子レベル、レベル、ローテーションレーザー、パイプレーザー

走行するだけで路線周辺の3次元形状を取得

3D移動体計測システム「IP-S2シリーズ」

3D移動体計測システム「IP-S2シリーズ」は車に搭載し、走行するだけで走行路線周辺の形状、寸法、位置、画像などの空間情報が取得できる画期的なシステムです。現在、私たちの社会生活で欠かせないインフラであるデジタル地図やGISなどの空間情報整備にかかる労力、時間、コストを飛躍的に削減できる次世代の計測システムです。

「IP-S2シリーズ」は、点群(高密度の点の集まり)および画像による高精度な実測データをベースとするモバイルサーベイシステム「IP-S2」と、画像のみによる簡便な計測を可能とするモバイル

マッピングシステム「IP-S2 Lite」からシリーズが構成され、空間情報取得に最適なシステムを選択できます。

「IP-S2シリーズ」は短時間で広範囲を計測でき、取得した画像データや3次元点群データより、道路周辺の様々な対象物の把握、特定、抽出を容易に行うことが可能です。

トプコンは「IP-S2シリーズ」の提供を通じて、地理空間情報の発展の一翼を担っていきます。

Eye Care

アイケアビジネス



ウェーブフロントアナライザー「KR-1W」

主な取り扱い製品

眼底カメラ、無散瞳眼底カメラ、3次元眼底像撮影装置、ノンコンタクトタイプトメーター、スリットランプ、手術用顕微鏡、眼科用レーザー光凝固装置、スペキュラーマイクロスコープ、眼科検査データファイリングシステム IMAGEnet、眼科電子カルテシステム IMAGEnet eカルテ、PSFアナライザ、ウェーブフロントアナライザー、レンズエッシャー、視力検査装置、ビノビジョンアナライザー、オートレフラクトメータ、オートケラトレフラクトメータ、レンズメータ、屈折検査システム

高齢化、クオリティ・オブ・ビジョンへの対応

ウェーブフロントアナライザー「KR-1W」

当社は、本年7月にウェーブフロントアナライザー「KR-1W」を発売しました。近視・遠視・乱視に対する屈折矯正は、眼鏡やコンタクトレンズによる方法に加え、最近ではレーシック手術も増えていきます。また、高齢化社会に伴い増加している白内障は、白濁した水晶体を取り出し、人工の眼内レンズを挿入する手術により、視力が回復できるようになりました。

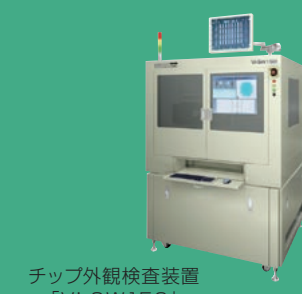
近年では手術後、単に視力が向上するだけでなく、見え方の質(Quality of Vision)「より良く見える」ことが重要視され、「KR-1W」はこのニーズをもとに開発しました。従来のレフラクトメー

タ・ケラトメータによる屈折測定、角膜曲率測定に加え、眼球光学系評価の新たな情報となる波面収差測定、角膜形状測定、瞳孔径測定の5役を1台で行える画期的な装置です。角膜矯正手術や眼鏡による矯正だけでは良好な視力が得られない場合など、「KR-1W」は眼球光学系の見え方に影響する微小な屈折成分まで測定が行え、結果を分かりやすく視覚的に表示します。

トプコンは精密な測定に基づいた見え方の解析および総合評価を行うことで、屈折矯正後のよりクリアな視界の提供に貢献します。

Finetech

ファインテックビジネス



チップ外觀検査装置「Vi-SW150」

主な取り扱い製品

チップ外觀検査装置、ウェーハ用電子ビーム検査装置、マスク用電子ビーム検査装置、電子ビームユニット、ウェーハ表面検査装置、精密光学ユニット、プロキシミティ露光装置、分光放射計、色彩輝度計、照度計、紫外線強度計、輝度・色度ユニフォミティ測定装置、走査電子顕微鏡、測定顕微鏡、投影機、特用品、フロントプロジェクター用光学エンジン、DVD光ピックアップ用光学部品、複写機用光学ユニット、高精度レンズ、赤外光学部品

LED市場へ専用チップ外觀検査装置を投入

チップ外觀検査装置「Vi-SW150」

地球環境問題への関心が高まる中、オフィスや店舗などを中心に省電力、長寿命なLED照明を導入する動きが広がっています。また液晶テレビでも、従来の蛍光管に代わり、LEDをバックライトとしたモデルの普及が進んでいます。このためLED照明市場は、平成24年に約6倍(平成20年度比)に拡大することが予測され、LEDメーカーはコスト削減や性能向上を加速させています。

そこでトプコンは自動で欠陥を検出することにより、高品質化とコスト削減に貢献するLED専用チップ外觀検査装置「Vi-SW150」を開発しました。

「Vi-SW150」は、LEDの製造・検査工程をさらに省力化するために、半導体後工程向けを意識した機能・性能を備え、高い検査スループットが要求されるLEDの製造・検査工程において、最適な仕様となっています。

トプコンは今後もパワーデバイス*や、LEDなどの省エネに貢献できるデバイスの検査ニーズにお応えする装置の提供に努めていきます。

* パワーデバイス：高電圧・大電流を制御することのできる半導体。家電、車両、エレベータなどに幅広く利用される。

グローバル企業として世界に貢献！！



小学生の工場見学



お祭り会場として敷地開放



海外被災地への復興支援活動



検査・眼鏡提供活動への協賛

持続可能な社会を実現するため、日本をはじめ世界中の企業に対し、CSR(Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任)活動の推進が強く求められています。

トプコングループでも、グローバル企業にふさわしい価値観を共有し実践するため、「CSR基本方針」を制定し、CSR活動を経営の重点項目に位置付け、計画的に取り組んでいます。その活動の一環として、グローバルに社会への貢献活動を展開しています。

国内での活動例としては、小学生の工場見学・学校行事への協力、中学生による職場体験学習、高校生によるインターンシップ・職場見学の受け入れなどを定期的実施しているほか、地域自治会主催のイベントへの貢献(お祭りへの敷地開放)なども積極的に行っています。中学生・高校生による職場体験実習では、トプコ

ングループの「ものづくり現場」を体験し、将来の望ましい職業観を養う学習の支援だけでなく、リサイクルセンターでのごみ分別作業体験などを通じて、環境問題への理解を深める支援も行っています。

また海外では、地震などの被災地への復興支援(製品の寄贈、スタッフの派遣、義援金拠出)をはじめ、眼科無料検診プログラムや、恵まれない子供たちへの検査、眼鏡提供活動への協賛など、様々な社会貢献活動を行っています。これらの活動について、詳しくはCSR報告書で紹介しています(<http://www.topcon.co.jp/csr/index.html>)。

トプコングループは、これからも社会に貢献する企業グループとして、CSR活動を積極的に展開していきます。

会社概要

商号	株式会社トプコン (TOPCON CORPORATION)
本社・工場	東京都板橋区蓮沼町75番1号 電話 03-3966-3141(番号案内)
設立	1932年(昭和7年)9月1日
資本金	10,297百万円(平成21年9月30日現在)
総資産	88,490百万円(平成21年9月30日現在)
売上高	42,333百万円(第116期)
決算期	3月
取引銀行	三井住友銀行、三菱東京UFJ銀行ほか
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
眼鏡器械営業所	東京都板橋区、大阪府東大阪市
同出張所	北海道札幌市、宮城県仙台市、愛知県名古屋、 広島県広島市、福岡県福岡市
セミコンインストル営業所	福岡県福岡市
海外駐在員事務所	中華人民共和国北京市/上海市、 アラブ首長国連邦ドバイ、 レバノン共和国ベイルート市、台湾新竹市
社員数	1,196名(平成21年9月30日現在)

役員

代表取締役社長	横倉 隆	執行役員	庄司和徳
取締役兼常務執行役員	内田憲男	執行役員	小泉 浩
取締役兼常務執行役員	福澤 弘	執行役員	岩崎慎治
取締役兼執行役員	宮脇裕正	執行役員	平野 聡
取締役兼執行役員	小川隆之	執行役員	高橋 潔
		執行役員	Raymond O'Connor
監査役(常勤)	関 淳一	執行役員	市丸修次
監査役(常勤)	布川和夫	執行役員	丸山賢一郎
監査役(常勤)	鈴木誠二郎		
監査役	東 実		

株式の状況(平成21年9月30日現在)

発行可能株式総数	160,000,000株
発行済株式総数	92,688,342株
株主数	22,386名
主な株主	株式会社東芝 TAIYO FUND, L.P. 第一生命保険相互会社 THE BANK OF NEW YORK 132561 三井住友海上火災保険株式会社 株式会社三井住友銀行 株式会社三菱東京UFJ銀行
株主優待制度(年2回)	メガネレンズおよびフレーム50%割引券(1,000株以上) (愛眼株式会社の全国各店舗で使用可能)



株式会社トプコン

〒174-8580 東京都板橋区蓮沼町75番1号

電話(03)3966-3141(番号案内)

ホームページアドレス <http://www.topcon.co.jp/>

株主メモ

事業年度の末日 3月31日

配当金支払株主確定日

期末配当 3月31日

中間配当 9月30日

定時株主総会 6月

株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話 0120-78-2031(フリーダイヤル)

取次事務は、中央三井信託銀行株式会社の全国各支店
ならびに日本証券代行株式会社の本店および全国
各支店で行っております。

(お知らせ)

- 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、
特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出
ください。
- 未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。
- 株主様のご住所・お名前に関する文字に際してのご案内
株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前の文字に、株式会社証
券保管振替機構(ほふり)が振替制度で指定していない漢字等が含まれ
ている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカ
タカナに変換して、株主名簿にご登録いたしております。このため、株
主様にご送付する通知物のご住所・お名前が、ほふりが指定した文字に
置き換えられる場合がありますのでご了承ください。

